

第50回 全日本歯科学生 総合体育大会開催さる

Niigata

陸上部
新妻 智恵 (2年)
長谷川 令 (2年)
個人優勝
2連覇達成!



新潟校 個人成績

陸上部

大埜間 光 (1年)
砲丸投げ個人優勝、円盤投げ個人優勝

新妻 智恵 (2年)
走り高跳び個人優勝 (2連覇)

長谷川 令 (2年)
三段跳び個人優勝 (2連覇)

剣道部

篠原 宗真 (1年)
男子個人戦 弐段以上の部準優勝

バドミントン部

女子団体優勝



第50回歯学体の新潟校の結果ですが、総合順位を前回の22位から17位へと躍進することができました。上位入賞しデンタルポイントを獲得したのは、冬季部門のスキー部、夏季部門ではバドミントン部、陸上部の3部でした。スキー部は総合2位、バドミントン部は女子が健闘しました。陸上部は複数の種目で個人優勝者が出ました。参加した登録選手数は164名、参加部門は14部門と回復傾向を示しており、グラウンドや体育館改修による練習環境向上の効果があらわれてきたと思われます。また、今回はボウリング部が初めて部門主管を務め、各部からの応援や職員の皆様のご協力も得て、なんとか無事に終了することができました。今回の大会期間中は毎日のように高温が続き、競技を行うのは非常に大変だったと思います。応援で参加した学生諸君を含め、本当にご苦勞様でした。



(2面に続く)

新潟生命歯学部 学生部長 小松崎 明

校友会からのご挨拶

繋がる校友会

大井 了 (71回)
常務理事



学生の皆さんは「SNS」を多用、活用していると思います。「Face book」で「The Nippon Dental University」と検索を掛ければ、同級生や先輩後輩が続々と出てきます。いつでもどこでも多くの人と繋がることができます。

こんな便利になった時代の前の話です。新潟での日本学校歯科医会の講習会に参加した際に休憩中の談話室で、「今年の県の校友会の……。」という会話をされていた方がいました。思わず「日本歯科大学出身の方ですか？」と尋ねたところ、「そうですよ、日本歯科大学新潟生命歯学部卒業です。」「何回卒ですか？」となり、部活動や共通の友人、恩師の先生の話などで盛り上がったことがあります。その時のキーワードが「校友会」そのものだったのです。

卒業後の研修先が日本歯科大学や日本歯科大学卒業の先生の診療所であたり歯科医師として仕事をする上で、最初にお世話になるのも校友会会員が大きく関わってきます。

そして、自らが開院する時には、その地域の先輩歯科医師の校友の先生方が経験されてきたように、皆さんのことを校友会の仲間として迎えてくれます。また、地域の歯科医師会では校友の先生方に教を請う機会が多くあります。

こんなに役立つ会は他にはありません。卒業時には、是非とも日本歯科大学校友会に入会してください。

生命歯学部 硬式野球部 四連覇!!



生命歯学部
バドミントン部 優勝

右 小林玄一郎 2年
左 矢島孝紀 1年
バドミントン
男子ダブルス優勝

第50回全日本歯科学生総合体育大会 Tokyo

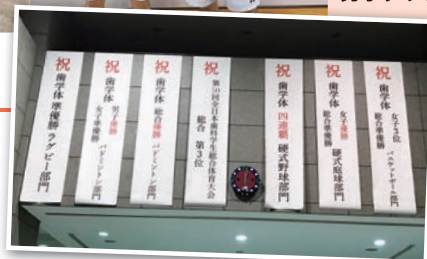
第50回となる節目の全日本歯科学生総合体育大会は、神奈川歯科大学が事務主管のもと、昨年12月にラグビーフットボール、今年3月にスキークの冬期2部門が終了しました。残念ながら、アメリカンフットボールは中止となりました。

夏期部門は7月31日に開会式が横須賀市で開催され、23部門6739名の学生達の熱戦が8月10日の閉会式前日まで繰り広げられました。本学では新潟生命歯学部がボーリング、生命歯学部が少林寺拳法の部門主管を務めました。

全国的に命に関わる猛暑が続き、部門によっては熱中症で搬送される学生さんも出ました。少林寺拳法部門は、生命歯学部の体育館が会場となり、附属病院のご協力を得て、1階に休憩室、8階を昼食会場として使わせていただくなど、多くの皆様のご協力のおかげで無事に終了

することができました。私ども教務部・学生部の教職員は今年も手分けをして、各地で活躍する学生さんの応援にまいりました。さて、気になる結果ですが、生命歯学部は第3位と大健闘を果たしました。結果もさることながら、この戦いの経験や思いを今後の学生生活にぜひ活かしてもらいたいと思っています。毎年、学生のためにボランティアで、熱意溢れるご指導をいただいているクラブ顧問の先生、監督、コーチのOBの先生、教職員、校友会の先生の皆様に心より感謝、御礼を申し上げます。まだまだ未熟さを感じる学生達ですが、将来の歯科界の担い手となりうる学生に引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

生命歯学部 学生部長
菊池憲一郎



2018 MihoCup 9th ウィンドサーフィンスラローム 競技大会 ビギナズクラス 優勝 準優勝

開催日
平成30年8月4～5日

開催場所
静岡市三保海岸

👑 優勝
宮 一晴くん
(新潟生命歯学部4年)

準優勝
石井光樹くん
(新潟生命歯学部3年)



国家試験体験記

私は今年の2月に行われた第111回歯科医師国家試験を受験し、現在日本歯科大学新潟病院にて臨床研修医として第一歩を踏み出したところです。私の学生時代を振り返ることで後輩の皆さんへのアドバイスとなればと思います。

まず、私の勉強の軸は大学の授業でした。学生の頃は授業と実習についていくことだけで精一杯でしたが、その分なるべく休まずに集中して取り組むようにしていました。主に1、2年生で学ぶ基礎科目は、臨床科目を学ぶ際にも重要に関わってきますし、もちろん国家試験にも出題される範囲なので

自分なりにまとめたりして、知識を固めておくとなかなか苦勞しないと思います。3、4年生から専門分野が増えますが、実習とリンクさせながらポイントとなるところをおさえると勉強しやすいと思います。

5年生の病院実習では、教科書では想像しづらかった診療手順や必要な器具、治療の流れを学ぶことができました。

私はこのころから授業ノートとは別に、自分なりにまとめた専用ノートを作り始めました。問題集を解きながらどんなところが頻出されるのか、どのような選択肢がでてくるのか、また誤りの選択肢の場合、なぜ違っているかが正しいのかなどポイントをつけ、その範囲を教科書や授業プリントで確認しながら

まとめました。ときには友人たちと話し合いながら復習をすることで知識を定着させていきました。

勉強していく上で誰しもがストレスを感じるものだと思いますが、ストレスを溜めたままだと思ってしまうように上手にいかずに、行き詰まってしまうことです。

大事なのは集中するときとリラックスするときのメリハリをつけ、自分のペースで進めていくことです。

そして頑張ってきた自分を信じ、国家試験合格を目指して頑張ってください。皆さんの夢が叶いますよう心から応援しています。



新潟病院
臨床研修歯科医
吉田早織
(107回)

第47回浜浦祭開催!! テーマは「VIVIDNESS ～鮮変万華～」



今年も無料
歯科健診は
大好評でした♪

— のたび6月9日・10日の2日にわたって開催いたしました第47回浜浦祭は、
— 無事に閉幕することができました。開催にあたり、浜浦祭実行委員をはじめ、体育会、文化会、学術会、各部活動など多くの学生が協力し合い、当日を迎えることとなりました。

今年のテーマは「VIVIDNESS ～鮮変万華～」でした。千変万化と「鮮やか」という言葉をかけた造語です。今年初めて参加する一年生をはじめとして、すべての学生が鮮やかに生き生きと学校生活を送れるように、という思いを込めて作りました。

開催期間中は風が強かったものの天候には恵まれ、多くの部活動の屋台の出店や作品展示のほか、新潟病院では学生による無料歯科相談、講堂では各団体による催し物が開かれ、多くの学生の活き活きとした姿が見られました。

最後になりましたが、浜浦祭を開催するにあたり、ご尽力、ご協力いただきました諸先生方、校友会をはじめ市地域の皆様、そのほか浜浦祭の成功へと尽力していただいたすべての方に厚く御礼申し上げます。

新潟生命歯学部3年 浜浦祭実行委員長 八藤後 堯



平 成30年6月9日(土)の浜浦祭、学食にてPMA部、軽音楽部合同のライブイベントが開催されました。

新入生も交えた計8バンド、約20名の部員により2時間ほどのライブイベントとなりました。

昨年よりも短い時間で終了しましたがその分、部員一同全力で取り組んだため、熱いパフォーマンスを披露することができました。浜浦祭ライブイベントを通して人前で何かを発表することの達成感や緊張感を体験することができました。

なおライブの開催にあたり、協力してくださった先生方、浜浦祭実行委員の方々には厚くお礼申し上げます。

新潟生命歯学部3年 軽音楽部部长 石川 裕一郎



盛り上がり
ました!!



間夜祭
ライブ

♪ アンサンブル部演奏会 ♪



私 たちアンサンブル部は羽村章先生により創部され、現在生命歯学部・衛生学科・技工学科の学生、25人で活動しています。主な活動内容は春、夏、クリスマスの病院でのロビーコンサートと文化祭での定期演奏会です。楽器の編成はその年に入ってくる新入部員の得意な楽器によって変わり、管楽器から弦楽器、また今年からはマンドラが加わり、さらに多彩な音を奏でることができるようになりました。病院のロビーコンサートでは毎回楽しみに聞きに来てくださる患者様もいらっしゃるの、これからも顧問の阿部恵一先生をはじめ楽器が得意な先生方に練習を見ていただき、より多くの方々に楽しんでもらえるように練習に励んでいきたいと思います。

生命歯学部4年 染矢夏恋

INFORMATION

校友会主催 学術フォーラム2019のお知らせ

開催日時: 2019年2月24日(日) 9:00 ~ 17:00

開催場所: 日本歯科大学生命歯学部

参加費 : 学生無料

毎年、全国の校友会会員の先生方を対象に開催される講演会です。歯科臨床に直結した講演が盛りだくさんです。校友のご父兄や友人と一緒にぜひ参加して下さい。詳細は次号で。

D Muse 2019 開催のお知らせ

開催日時: 2019年4月21日(日)
10:30 ~ 15:30頃までの予定

開催場所: 未定(生命歯学部または近隣施設)

参加費 : 学生無料

D Museは校友会女性の会委員会が企画する講演会です。今回は、認知症患者さんのケアに関する講演を予定しています。詳細は2月頃にお知らせしますので、興味のある方は是非参加してください。

平成31年新年会のお知らせです。

開催日時	18:00 受付開始
平成31年2月2日(土)	18:30 受賞会員顕彰式・新入会員歓迎式
開催場所	19:00 新年祝賀会
ローズホテル横浜	※学生さんは無料ですので、奮ってご参加ください。

KOYU Quiz Q.正常な乳歯列はどっち?



正解はAです。乳歯列は、歯と歯の間に隙間があるのが正常です。Bの歯列は、歯と歯の間に隙間がなく、歯の並びが整っていない状態です。これは、歯の発育に異常がある可能性があります。

東京

新英語抄録・口頭発表・論文作成 虎の巻

著者：上松正朗

出版社：南江堂 出版年：2017/3

請求記号：WZ345 U 41

登録番号：100036021

採択される抄録作成の「技」や、論文を書くための「設計図」について、学会発表の準備から本番での心得など、具体的に実用的な情報が満載。項目ごとにポイントもまとめられており、何から手をつけてどのように進めていけばよいか分かりやすく書かれています。英語・日本語を問わず、これから口頭発表、論文作成をしようと思っている方、またプレゼンなどの参考にも役立つ一冊です。

●図書館新刊・企画展示情報は、下記ホームページから閲覧ください。
<http://www.ndu.ac.jp/~library/>

●図書館開館情報

開館情報は右記QRコードから閲覧ください。



新潟

ほたる 真夜中の歯科医 1

著者：高田靖彦

出版社：日本文芸社

出版年：2013

請求記号：726.1-T-1

登録番号：000137441

レジン・インプラントなど専門用語がでてくる歯科医が主人公のコミックです。図書館ではコミックは基本購入しないのですが、「はたらく細胞」と一緒に年度末に購入しました。勉強の合間に手に取ってみたいかがでしようか。3階書庫前方のブルーパックスの隣に配架してあります。

●図書館開館情報

10月～12月の開館時間

平日 9:00～20:00

土曜日 10:00～17:00

※10月10日(水)～10月12日(金)

は9:00～18:00

年末年始の休館

12月28日(金)～1月6日(日)

こうゆう先輩 第15回



東京都

加藤 学 (MANA) (89回)

私は、幼いころから松山バレエ団でクラシックバレエを学びました。日本国内のコンクールで準優勝、ローザンヌ国際バレエコンクール等に出場していました。

両親・親族が医師であるということもあり、一時期ダンスの世界を離れて歯科医師の資格を取得。歯科医師としても勤務しています。

十数年前、友人に誘われてアルゼンチンタンゴダンスの体験レッスンを受けたことをきっかけに、アルゼンチンタンゴダンスに魅了されてしまいました。最初は週1回のレッスンが週2回、3回と増え、本格的にレッスンをしてプロにならないかとお誘いを受けました。

悩んだ末にアルゼンチンヘタング留学。さらにアルゼンチンタンゴダンスに傾倒し、国内外の数々の大会、世界選手権に出場。2013年にアジアチャンピオンに輝いた後、国内だけでなく海外でのshowやfestival等にも出演。2010年・2012年Tango世界大会8位入賞ファイナリスト、2013年日本アジア選手権優勝、2014年韓国アジア選手権優勝、マニラ世界選手権優勝、2015年

世界選手権セミファイナリスト、2016年東京Tango festivalの主催等、活動が続いています。

毎年開催される世界大会

現在は、国内外で開催される大会やショーに出場する一方で、一人でも多くの方にアルゼンチンタンゴダンスの魅力をお伝えしたいと、日本橋・池袋・銀座等でレッスンを行っています。

講師としての活動と自分自身の練習と、いくら時間があっても足りない日々ですが、大会に出場するのは、さらに上を目指し続けるためのモチベーションを維持するためのものと考えています。

もちろん常にチャンピオンを目指していますが、辛い練習などに耐え上を見続けるには、何か目標が必要で、大会はその一つと私は思っています。

大会にしてもショーにしても、踊ることに対する想いは同じですが、大会、特に世界大会は特別で、技術だけでなく、自分のタンゴに対する考え方や想い、一歩でも先の明日の自分を観客や審査員に見せなくてはなりません。それに対する明確な点数や順位も出ますから、体力プラス強靱な精神力も求められます。今年8月から11月、世界大会出場のためアルゼンチンに行くことも決まりました。アルゼンチンの20代の男性とペアを組み、2週間かけて行われる予選を勝ち抜き、ファイナルに進むため練習を始めています。

世界大会は、「サロタンゴ」に500組以上が参加し、ファイナルに残れるのは50組。「ステージタンゴ」は300組以上が参加し、ファイナルに残れるのは18組、という狭き門です。

今日を大切に、目の前のことに 努力し続けたい

当然ですが日々の練習の中で相手と衝突することもありますし、うまく踊れないことを相手のせいになしたりすることもあります。お互いにその心の葛藤を乗り越え、ペアとしてお互いをリスペクトし、心が通じ合うことができるようになりたいと思っています。

世界大会は本当にシビアな戦いの場です。お金も時間も体力も精神力も、すべてを費やします。40代に入り、一体私は何をしているんだろうと自問自答することもあります。自分で選んだこの道でさらに輝き続けるために…。

支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れずに、今日を大切に、目の前のことに努力し続けたい、そう思っています。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

